

みんなが誇りを持てるまち四日市 を目指して



私達の住むまち、働くまち四日市市は、少子高齢化が急速に進む中、財政難や中心市街地の賑わいの喪失、地球環境問題の顕在化など、多くの課題が山積し、今まさに厳しい局面を迎えています。しかし、本市が未来に向けて発展し続けていくためには、社会の変化に的確に対応しつつ、こうした問題を着実に解決していかねばなりません。

そのため、従来型の行政のみの市政運営ではなく、市民の皆さんや事業者、行政が一体となって、最小の経費で最大の市民満足度を生み出す、新たなまちづくりの仕組みが求められています。即ち、都市としての明確なビジョンを共有し、協働で政策や施策を推進していく都市経営の視点が必要です。

このたび策定しました「四日市市総合計画（2011年度～2020年度）」は、こうした考え方にに基づき、目指すべき都市像として「みんなが誇りを持てるまち四日市」を掲げ、あらゆる主体が、適切な役割分担と連携のもと、新たなまちづくりを進めていくための指針となるものです。

策定にあたっては、市内全24地区における「政策懇談会」や、市民活動団体・事業所の皆様との懇談会、高校生・大学生を対象とした若者懇談会の開催とともに、パブリックコメントを2回実施するなど、多くの皆様からご意見やご提案を頂戴いたしました。

また、総合計画策定委員会での熱心なご議論や市議会特別委員会における集中的なご審議をいただき、新たな総合計画を策定することができました。ご協力賜りました皆様に、あらためて、厚く御礼申し上げます。

今後は、「安心」「元気・魅力」「絆」のあるまちを目指して、この計画を着実に実現していけるよう、皆様のさらなるご理解とご支援をお願い申し上げます。

平成23年3月

四日市市長 田中 俊行